



BUSINESS REPORT

T O B E T H E L E A D I N G F O O D S E R V I C E E N T E R P R I S E



COourage LOve WIsdom DEcision
Colowide's name expresses our attitude toward our efforts to
provide more comfortable, enjoyable settings.

第**63**期 事業報告書

2024.4.1—2025.3.31

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社グループの第63期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)の
業績についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 野尻 公平

◆ 我が国の経済動向

当連結会計年度における我が国経済は、企業の質上げの動きを背景に緩やかな景気回復が期待されるも、エネルギーや食料品の価格上昇が収まらず、社会保険料等の高負担も続いているため、消費マインドの回復が遅々として進まない状況にあります。世界経済におきましても、米国における消費減速や新政権による関税政策の影響、中国経済の低迷、欧州や中東での地政学リスクの懸念等により、先行きへの不透明感が続いております。

◆ 外食産業の動向

外食産業におきましては、インバウンド需要の高まりや多くの飲食店における価格改定などによって業績のトップラインは持ち直しております。しかしながら米や野菜、食肉など農畜産物の高騰や慢性的な人手不足によるコスト上昇圧力が続いており、加えて消費者の選別志向・節約志向が更に強まっております。このため付加価値を高めつつも、効率的な運営を進めることが求められております。

このような状況の中、当社グループでは消費者の皆様には選ばれるブランド作りを推進すると共に、企業価値の一層の向上に取り組んでおります。

◆ 効率化に向けた施策

効率化に向けた施策としましては、使用する原材料の共通化を出発点にMD研究所において各ブランドの商品開発を進めているほか、ステーキ宮のハンバーグについては、成型を全てグループ工場で行うことによって店舗オペレーションの負荷を軽減させました。また新たに当社グループに加わったデザート事業を手掛ける㈱N Baton Company(2024年10月1日に㈱日本銘菓総本舗から社名変更)や給食事業を手掛ける連結子会社5社につきましては、これまでバラバラだった調達から物流までを、グループシナジーを活かして新たに整備しただけでなく、グループ工場を活用した商品生産も行って効率化を図っております。

◆ 営業施策

商品関連の施策としましては、出資先である農業生産法人㈱ベジフルファームとの連携を強化しており、ステーキ宮ではサラダバーを国産のフレッシュ野菜にこだわった品質の高いものへ切り替え、しゃぶしゃぶ温野菜

でも機能性野菜の提供を開始しました。またかっぱ寿司では2017年より回転寿司チェーン業界初の食べ放題として話題を呼んでいる『かっぱ寿司の食べホー』の実施を、かっぱ寿司の全店舗の7割近くになる200店舗にまで期間限定で拡大させ、お客様に新たな体験を訴求しております。牛角では食べ放題だけではなくアラカルトでの楽しみ方も提案しており、人気メニューを一皿に盛り合わせ、見た目にも華やかな大皿メニューも用意しております。

販売促進及びPRにつきましては、牛角、温野菜、かっぱ寿司、ステーキ宮においてブランドアンバサダーとして引き続き人気タレントを起用したTVCMを放映し、ブランド及び商品の訴求力向上を図っております。また大戸屋では料理研究家“だれウマさん”と共同開発したメニューを全国にて期間限定で販売し、好評を博しました。

◆ サステナビリティ

サステナビリティの取り組みにつきましては、環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体CDPによる2024年度調査の「気候変動」分野において、気候変動に関連するリスクと影響を認識した上で具体的な行動を実践していると評価(Bスコア)され、引き続きベストプラクティスの実践(Aスコア)に向けて取り組んでおります。また経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人」に㈱コロナイドが2年連続で認定されたことに加え、グループ子会社8社(㈱コロナイドMD、㈱アトム、㈱レイズインターナショナル、㈱フレッシュネス、カッパ・クリエイト㈱、㈱大戸屋ホールディングス、㈱大戸屋、㈱ココット)についても同認定を受けており、従業員の健康意識向上と働きやすい職場環境づくりにグループ全体で取り組んでおります。

◆ 店舗政策

店舗政策につきましては、まず2024年4月に㈱日本銘菓総本舗(現㈱N Baton Company)を、同年6月にはソシオフードサービス㈱をそれぞれグループに迎えた一方で、㈱アトムにおいて「レストラン事業」へ経営資源を集中させるため、カラオケ事業を2025年3月に㈱シン・コーポレーションへ事業譲渡しました。また国内ではレストラン業態の出店を郊外・ロードサイド・ショッピングセンター中心に進めており、特に牛角が

プロデュースするフードコート専門店「牛角焼肉食堂」は60店舗を超え、「とんかつ神楽坂さくら」も40店舗を超える規模に成長しました。海外においては、新規エリアとして開拓中の中東エリアにおいて出店を開始し、既存展開エリアにおいては、インドネシアを中心に牛角や温野菜を出店しました。

◆ 店舗の退店

これらによって直営レストラン業態を新たに84店舗出店した一方で62店舗を閉店し、また直営居酒屋業態は13店舗を閉店しました。この結果、当連結会計年度末の直営店舗数は1,424店舗、FCを含めた総店舗数は2,586店舗となりました。更に今後の一層の成長に向けて、2024年9月には新株発行によるM&A待機資金の調達も実施しております。

◆ 2025年3月期の業績について

以上の取組みを進めて参りましたが、当連結会計年度の連結業績につきましては、原材料価格や人件費などの上昇、並びに為替差損の影響もあり、売上収益が2,691億56百万円、事業利益が93億5百万円、当期利益が22億55百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益が12億49百万円となりました。

当社グループのセグメント別の売上収益につきましては、(株)コロナワイドMD961億44百万円、(株)アトム355億4百万円、(株)レイズインターナショナル923億84百万円、カップ・クリエイト(株)732億9百万円、(株)大戸屋ホールディングス313億85百万円、その他424億76百万円となっております。

尚、各セグメント別の売上収益は、セグメント間の内部売上収益又は振替高等を考慮しておりません。

◆ 今後の見通しと展望

2026年3月期につきましては、米国の新政権における高関税政策等の影響や中国経済の低迷、欧州や中東における地政学リスクなどが続くことにより、世界的な景気悪化が懸念されております。我が国におきましては、大企業を中心に賃上げが継続され、中小企業においても賃上げを見込む企業が増加しており、賃金上昇分を販売価格に転嫁する動きが強まると

予想されております。外食産業におきましては、引き続きコスト上昇圧力や人手不足により楽観できない状況が続くと予想されており、適切な価格転嫁を進めるために、商品やサービスの魅力を継続的に高めることが必要になると考えられます。

このような状況の中、当社グループは中長期的な企業価値の向上を展望し、中期経営計画「COLOWIDE Vision 2030」に基づいた事業推進に努めております。国内外食事業を基盤としつつも、市場の拡大が見込まれる海外外食事業や本格的に参入を開始した給食事業の成長を通じて、2030年3月期までに連結売上収益5,000億円の達成を目指し、企業価値の向上に努めております。

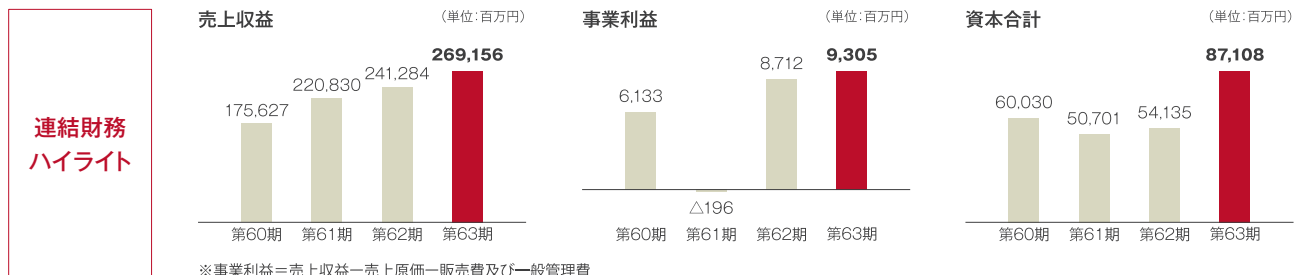
国内外食事業につきましては、引き続きレストラン業態を中心とした新規出店、経年劣化した店舗の改装、リノベーションや業態転換に加え、M&Aによるシェア拡大を図って参ります。また(株)コロナワイドMDを中心にマーチャндаイジング機能を高め、効率化を追求しつつ提供する商品・サービスの付加価値を向上させ、必要に応じて適正な価格転嫁を進めて参ります。

海外外食事業につきましては、新規エリアとして開拓を始めた中東エリアにおいて、2030年3月期までに55店舗体制とすることを目標とし、更に出店を加速して参ります。既に展開しているアジア諸国及び北米においても事業強化を進めており、より一層の拡大を図って参ります。

給食事業につきましては、ヘルスケア施設における事業拡大を進めております。4月1日より当社グループ内で給食事業に携わる会社を(株)ニフス中心の組織に再編し、外食市場での競争によって培ったメニュー開発力や運営能力、グループ工場を活用したミールキットによる調理効率の向上等により、フードサービスカンパニーとしての優位性を活かした展開を図って参ります。

更に社会的な責任を果たしつつ長期に亘って成長を続けるため、サステナビリティの推進にも注力しております。重点的に取り組む5つのマテリアリティ(重要課題)、すなわち「地球環境への貢献」「食の安全・安心の提供」「働く仲間の成長と多様性の尊重」「地域・社会への貢献」「経営基盤の強化」に基づき、引き続き積極的に活動して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



■ グループの事業について

社名の由来

COLOWIDE (コロワイド) の社名にこめられた意味

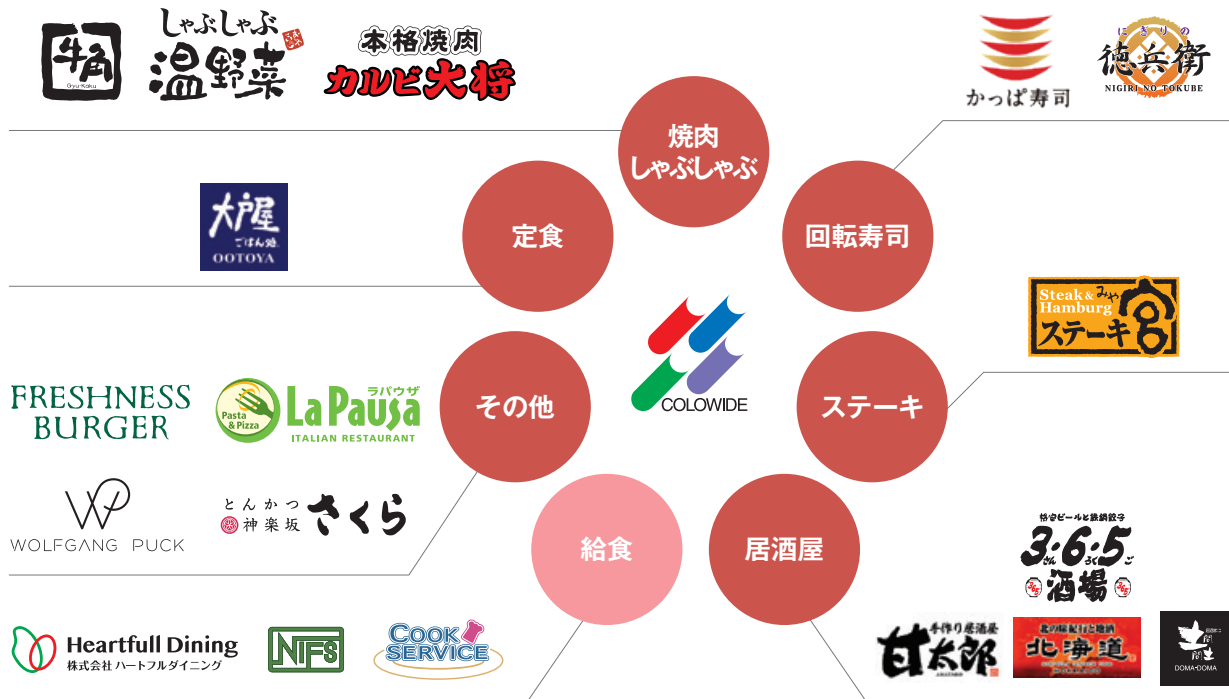


- CO …… 勇気 (Courage)
- LO …… 愛 (Love)
- WI …… 知恵 (Wisdom)
- DE …… 決断 (Decision)

4つのファクターを一つに

コロワイドの社名は、人が生きていく上で大切な4つのファクターを一つにまとめたものです。従業員一人一人がこの4つの大切な精神を常に心に刻み、未来にチャレンジしていく強い意志と勇気がこめられた社名です。

業態別コアブランド



グループ体制と出店状況

■グループ体制 (2025年3月末現在)



**株式会社コロワイド
(持株会社)**

東証プライム
証券コード 7616

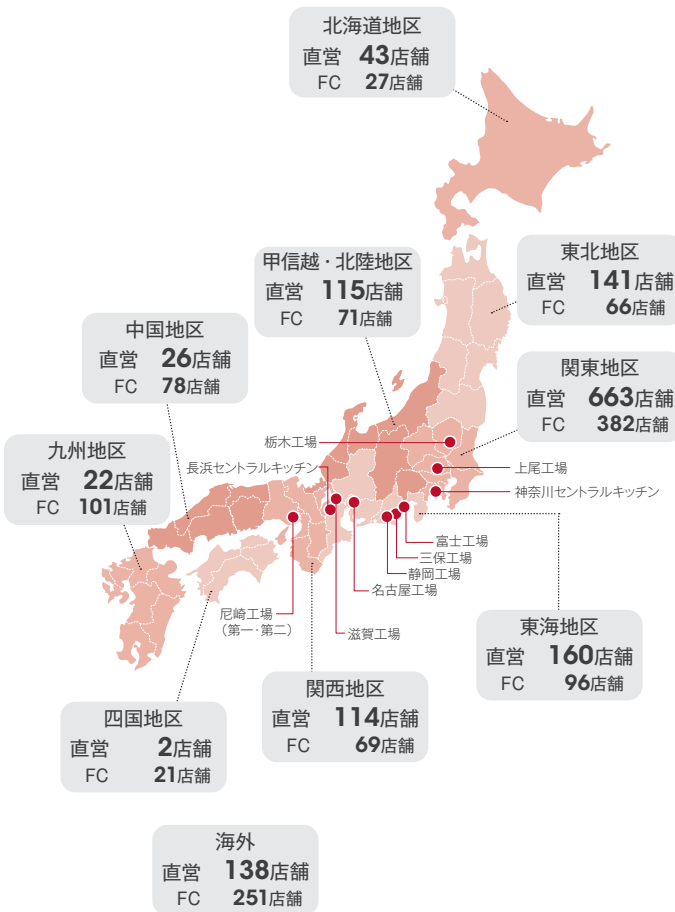
この他に、中間持株会社として(株)レックス、(株)SPCレックス、(株)SPCカッパ及びAME-GYU CO., LTD. があります

- 株式会社コロワイドMD**
各種食料品等の商品開発・調達・製造・物流のマーチャндаイジグ全般
- 株式会社ダブリューピーージャパン**
飲食店チェーンの運営
- 株式会社コロワイドダイニング**
飲食店チェーンの運営
- 株式会社ニクス**
病院や介護施設を中心とした給食受託事業
- 株式会社エムワイフーズ**
業務用一般消費者向けたれの製造及び販売
- ワールドピーコム株式会社**
ITシステムの企画・運用・保守、コールセンター事務
- 株式会社コスト・イズ**
酒類等の販売・物流
- 株式会社シルスマリア**
生菓子、焼き菓子、チョコレートの製造・販売
- 株式会社レイズインターナショナル**
国内・海外における飲食店チェーン及びFC事業の運営
- 株式会社フレッシュネス**
飲食店チェーン及びFC事業の運営
- 株式会社Beer Thirty**
飲食店事業の運営
- 海外子会社**
北米・アジア諸国における飲食店チェーン及びFC事業の運営
- 株式会社アトム**
飲食店チェーン及びFC事業の運営
- カッパクリエイト株式会社**
国内・海外における飲食店チェーンの運営
- 株式会社ジャパンフレッシュ**
デリカ事業
- 海外子会社**
アジアにおける飲食店チェーンの運営
- 株式会社大戸屋ホールディングス**
国内及び海外における飲食店事業の企画・運営・管理
- 株式会社大戸屋**
飲食店チェーン及びFC事業の運営
- 海外子会社**
米国・アジア諸国における飲食店チェーン及びFC事業の運営
- 株式会社ベイ・フードファクトリー**
飲食店事業の運営
- 株式会社フューチャーリンク**
飲食店チェーンの運営
- 株式会社N Baton Company**
洋菓子の製造・販売、飲食店事業の運営
- 株式会社ハートフルダイニング**
給食や学食の受託及びサポート事業
- 株式会社コロワイドサポートセンター**
給与計算・社会保険管理等の労務関連業務
- 株式会社コソット**
事務処理業務

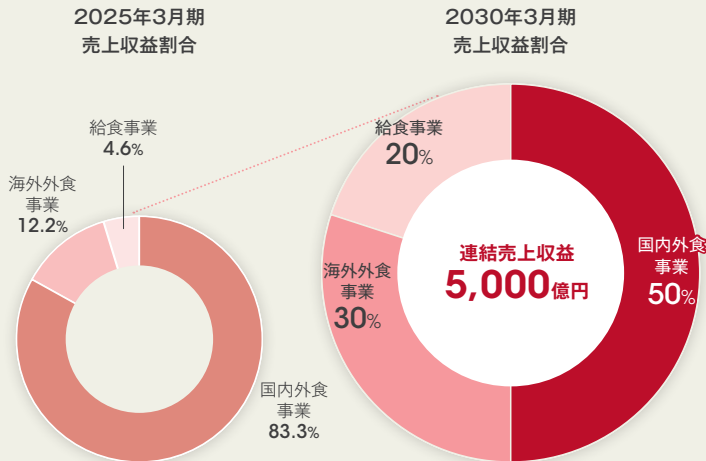
■地域別店舗分布及びセントラルキッチン網 (2025年3月末現在)

直営店
1,424店舗

FC店
1,162店舗



COLOWIDE Vision 2030 中期経営計画



◆ 国内外食事業

- レストラン業態を郊外やロードサイド、ショッピングセンターへ新規出店
- 経年劣化した既存店舗の改装やリロケーション、業態転換を推進

◆ 海外外食事業

- 新規エリア開拓の一環として、牛角がプロデュースする新たなフードコート専門店「GYU BOSS」をUAEへ展開開始
- 海外外食事業においても、更なる事業拡大のためM&Aの検討を開始

◆ 給食事業

- 2024年4月に㈱ハートフルダイニング設立、6月にソシオフードサービス㈱を迎え、更なる業容拡大に向け2025年4月より㈱ニフスを中心に再編
- グループシナジーを活かした商流の統合や工場での商品生産などを推進

◆ サステナビリティ

- 当社として特定した5つのマテリアリティ(重要課題)それぞれについて着実に活動を推進
「地球環境への貢献」「食の安全・安心の提供」
「働く仲間の成長と多様性の尊重」「地域・社会への貢献」
「経営基盤の強化」

国内外食

■ 新規出店

レストラン業態を中心に積極的に出店し、牛角焼肉食堂は60店舗、とんかつ神楽坂さくら40店舗を超える規模に成長しました。



■ 既存店投資

経年劣化した店舗の改装やリロケーション及び業態転換など、既存店へ1,992百万円の再投資を実施しました。 ※2025年3月期実績



■ コスト上昇への対応

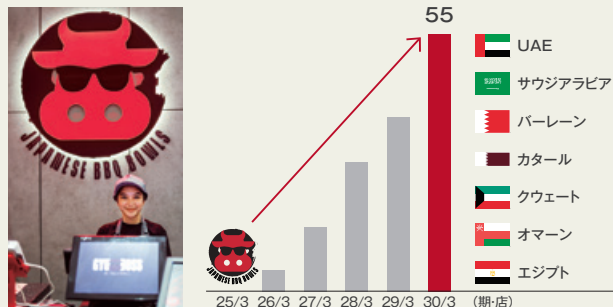
グループインフラを活用することで競争力を高めると共に、更なるグループシナジーを創出しています。



海外外食

■ 新規エリアの開拓

新規開拓中の中東エリアにおいて、焼肉・寿司等のレストラン事業を2030年3月期までに55店舗体制にするため、牛角のフードコート向け業態「GYU BOSS」の出店を足掛かりに2026年3月期以降、新規出店を加速します。



給食事業

■ 飛躍的な拡大に向けて

M&AやJVによる給食事業の拡大を受け、グループ内の給食事業を手掛ける連結子会社を、2025年4月より㈱ニフスを中心に再編します。



■ 他社との優位性

他社にはない外食テイストを活かした自社工場での商品生産や、グループ内の外食ブランドとのコラボレーションなど、フードサービスカンパニーとしての優位性を活かした施策を推進しています。



■ 既存エリア(アジア諸国及び北米)の活動

既存エリアへの新規出店も継続して進めており、ASEANの牽引役であるインドネシアにおいては63店舗にまで拡大しました。(牛角49店舗、大戸屋10店舗、かっぱ寿司4店舗)

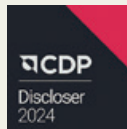


サステナビリティ

地球環境への貢献



環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体CDPによる2024年度調査の「気候変動」分野において、気候変動に関連するリスクと影響を認識した上で具体的な行動を取っていると評価(Bスコア)を取得し、引き続きベストプラクティスの実践(Aスコア)に向けて取り組んでいます。



働く仲間の成長と 多様性の尊重



経済産業省と日本健康会議が共同実施する「健康経営優良法人認定制度」において㈱コロワイドとして2年連続で認定、同時にグループ子会社8社も認定を受けました。また国連が制定する「国際女性デー」に合わせ、グループ内社員約300名が参加する「コロワイド全社女性交流会」を昨年に続き開催しました。



■ グループ会社紹介



REINS international inc.
株式会社レイズインターナショナル

「牛角」「しゃぶしゃぶ温野菜」を中心に
国内外で直営店・FC店を展開

「牛角」、「しゃぶしゃぶ温野菜」、「居酒屋 土間土間」等の業態を国内及び海外において、直営店事業、フランチャイズ本部（マスターフランチャイザー）としてフランチャイズ（FC）事業を行っています。直営店舗にFC店舗も含めた店舗網は全都道府県に展開しており、(株)コロワイドMDのマーチャンダイジング機能が有効に活用され大きなシナジーを生んでいます。また、日本国内で気軽に楽しめる食文化として定着している焼肉は、海外でも「YAKINIKU~JAPANESE BBQ」として普及しつつあり、北米及びアジア諸国等においては「牛角」、「しゃぶしゃぶ温野菜」を中心に261の店舗網を構築し、事業のグローバル化を進めています。



牛角焼肉食堂



牛角



しゃぶしゃぶ温野菜



牛角食べ放題専門店と
とんかつ神楽坂さくら(外観)



宮のたれで有名な「ステーキ宮」をはじめ、
地域に根差したブランドを展開

中部、東北、北関東地区を中心に、専門性の高い郊外型レストランを店舗展開しています。「ステーキ宮」をはじめ、焼肉「カルビ大将」、グルメ回転寿司「にぎりの徳兵衛」など、来店目的が明確なブランド展開と、家庭ではなかなか味わうことができない体験価値のある料理や、高いレベルのサービスを提供することによって、お客様の体験価値向上に取り組んでいます。現在、アトムでは外食事業を通じ、地域社会・地域経済との共存・共栄を図り、その地域においてなくてはならない存在となる企業活動を行っていくことで、社会の持続的な発展への貢献を目指しています。



ステーキ宮



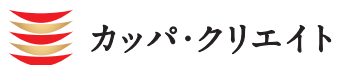
ステーキ宮(外観)



にぎりの徳兵衛



カルビ大将



カッパ・クリエイト

いちばん身近でいちばん頼れる“みんなのクリエイティブレストラン”へ 回転寿司のパイオニア

回転寿司事業である「かっぱ寿司」のリブランディングに取り組むカッパ・クリエイトは、リーディングカンパニーとしてのポジションを奪回するため、新たなマーケティング施策の推進、店舗の全面改装、新規出店に取り組んでいます。従来の回転レーンをなくして、“できたて”をお届けするフルオーダー改装、スマホオーダー、セルフレジ、自動案内システム、テイクアウトロッカーの導入などを進めると共に、「かっぱの挑戦ACTION」により、いちばん身近でいちばん頼れる“みんなのクリエイティブレストラン”を目指しています。「かっぱ寿司」は国内に295店舗。“回転寿司のパイオニア”として、お得さや美味しさの探求にとどまらない、お腹も心も満たすお食事体験をお届けして参ります。



かっぱ寿司（外観）



かっぱの挑戦 ACTION



自動案内システム



かっぱ寿司の商品



大戸屋ホールディングス

国内外で「大戸屋ごはん処」を展開 健康的で美味しい「にっぽんの食卓ごはん」を提供

家庭らしさのある定食メニューを充実させている「大戸屋ごはん処」を国内外で展開しています。大戸屋独自の220項目もの厳しい添加物基準で厳選した食材を使用し、栄養バランスのとれた健康的で美味しい「にっぽんの食卓ごはん」を提供する定食屋チェーンとして幅広いお客様に支持されています。“大戸屋”ブランドのフードコートも商業施設を中心に展開し、リーズナブルに大戸屋の定食を提供しています。「大戸屋のお弁当」のテイクアウト、デリバリーとも合わせて、大戸屋ならではの“ほっとする味わい”をいつでもご家庭でお楽しみ頂けます。



大戸屋（外観）



テイクアウト・デリバリー



大戸屋定食



フードコートモデル

2025年3月末現在

■ グループ会社紹介



コロナイドグループ全体の
マーチャンダイジング機能の要として

商品開発、調達、製造、そして物流までのバックヤード業務を支える要として、グループのマーチャンダイジングの中核を担う「コロナイドMD」では、SCM(サプライチェーン管理)とMD(マーチャンダイジング)の統合により、こころ満たす「食」とフードビジネスをつなぐ「食のSPA」となることを目指しています。目指している「食のSPA」とは、原材料起点の商品企画のもと、原料の調達から製造、物流、卸売までを一貫して行うことで、グループの各業態に対し、顧客ニーズに即した食材を迅速に提案するというビジネスモデルです。グループ全体の利益最大化を事業を通して追求する一方、事業活動のサステナビリティ(持続可能性)と経済成長を両立するものとして、資源価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑止等を目的とした「循環経済」(サーキュラーエコノミー)の確立に向けて取り組んでいます。



物流拠点



三保工場



MD研究所



セントラルキッチン



美味しさと安全・安心の「食」を提供
グループの「デリカ事業」を牽引

全国5工場で製造した調理パン、米飯、惣菜、寿司、デザート類をスーパー、コンビニ向けに販売する「デリカ事業」を展開。食品安全マネジメントの国際規格FSSC22000認証に基づく業界最高水準の食品衛生管理を徹底。安全・安心の「食」の提供を追求しています。



「ステーキ宮」
創業時の味を守り続ける

「ステーキ宮」で創業時から使用されている「宮のたれ」の製造及び販売を行っています。約3週間かけてじっくりと熟成させた独特な風味のたれは、原材料はタマネギ・ニンニク・本醸造醤油・醸造酢と極めてシンプル。生野菜の風味を最大限に生かしています。



上質な食生活を提案する
「大人がくつろげるバーガーカフェ」

ゆっくりとくつろげる空間で、品質にこだわる本格ハンバーガーやドリンクが楽しめる「フレッシュネスバーガー」を157店舗運営しています。お腹だけでなく心も満たされる、日常のちょっとした贅沢を楽しめる場所をご提供しています。



WOLFGANG PUCK

ウルフギャング・バック氏
プロデュースによる
本格的カリフォルニア・レストラン

アカデミー賞®公式シェフ、ウルフギャング・バック氏がプロデュースするカリフォルニア・レストランを運営しています。カジュアルに楽しめるパスタ&ピッツアから本格的ディナー、ウェディング二次会など様々なシーンでご利用頂けます。





病院や介護施設を中心とした
給食サービスを展開

介護施設、病院や産科などのヘルスケア関連の給食サービスを中心に、事業所給食や学食なども含め、多様な施設で受託運営しています。フードサービスカンパニーとしての優位性とグループシナジーを活かし、安全・安心で美味しく喜ばれる給食サービスを提供しています。



株式会社
N Baton Company

「CHEESE GARDEN」など
複数ブランドを展開

御用邸チーズケーキなどを扱うチーズ菓子専門店「CHEESE GARDEN」や、バラエティ豊かな本格スイーツをラインナップする「CRIOILLO」等の複数ブランドを国内で展開。また、海外での店舗展開も視野に、海外でのポップアップストアも行っています。



生チョコ発祥のお店から、
心のごもった洋菓子をお届け

上質な素材にこだわったとろけるような口溶けの生チョコレートをお届けするシルスマリア。生チョコはここシルスマリアの工房で生まれました。発売当初から現在もその味を受け継ぎ、誇りをもってたくさんのお客様に美味しい生チョコレートをお届けしています。



ノーマイゼーションの理念に
基づき、社会参加の機会を拡大

「障がい者の社会への完全参加と平等」の理念に基づき特例子会社として設立されました。ツール制作や請求書処理、野菜の一次加工など、障がいのある社員も他の社員と同様、活躍のフィールドを広げることができる環境の整備を進めています。



居酒屋、和食及びイタリア料理を
中心としたチェーンを展開

創業ブランドである「手作り居酒屋 甘太郎」や「北の味紀行と地酒 北海道」といった居酒屋に加え、酒場業態の「3・6・5酒場」、本場イタリアの味をリーズナブルに楽しめる「ラパウザ」など、多種多様な飲食店チェーンを展開しております。



海外グループ

■REINS INTERNATIONAL (USA) CO., LTD.

北米における飲食店チェーン及びFC事業の運営
※子会社9社を含む

■台湾瑞滋國際股份有限公司

台湾における飲食店チェーンの運営
※子会社1社を含む

■REINS INTERNATIONAL (SINGAPORE) PTE. LTD.

シンガポールにおける飲食店チェーンの運営
※子会社1社を含む

■REINS INTERNATIONAL (THAILAND) Co., LTD.

タイにおける飲食店チェーンの運営

■PT. REINS MARINDO INDONESIA

インドネシアにおける飲食店チェーン及びFC事業の運営
※子会社1社を含む

■REINS PALACE MIDDLE EAST SPV LTD

アラブ首長国連邦(UAE)における飲食店チェーンの運営
※子会社1社を含む

■COLOWIDE VIETNAM., JSC.

ベトナムにおける飲食店チェーンの運営

■カッパ・クリエイトコリア株式会社

韓国における飲食店チェーンの運営

■COLOWIDE ASIA CO., LTD.

海外(アジア)での製造及び店舗展開における投資会社

■AMERICA OOTOYA INC.

アメリカ合衆国における飲食店チェーンの運営
※子会社1社を含む

■香港大戸屋有限公司

香港における飲食店チェーンの運営

■M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD.

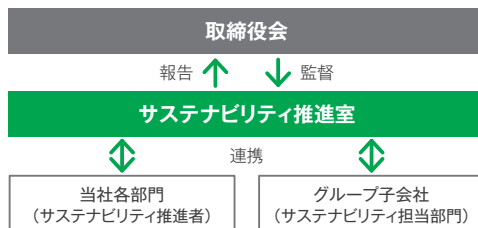
タイにおける飲食店事業の運営
※関係会社1社を含む

2025年3月末現在

■ コロワイドのサステナビリティ経営

◆ **基本方針** 私たちは、企業理念である「すべては、お客さまと社員のために」の考えのもと、食のインフラの担い手として、社会の持続可能な発展への貢献と企業価値の向上を目指します。

◆ **推進体制**



取締役会において、進捗状況の妥当性等を議論・監督し、その内容を各種取組みの推進に反映

サステナビリティ推進室においては、各種取組みの進捗状況を定期的に取締役会に報告

サステナビリティ推進室と各部門及びグループ子会社のサステナビリティ推進担当が連携しグループのサステナビリティを推進

◆ **マテリアリティ**

マテリアリティ	主な取組みテーマ	関連するSDGs
 <p>1 地球環境への貢献 「地球環境への貢献」は、次代への責務であり、気候変動の緩和、循環型社会の形成に向けて、再生可能エネルギーの安定的利用や資源の有効活用に取り組んでいく</p>	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量の削減 再生可能エネルギー利用の推進 資源の有効活用・循環 	
 <p>2 食の安全・安心の提供 「食の安全・安心の提供」は、外食企業として持続可能な成長の基盤であり、バリューチェーン全般における衛生管理と品質の追求、情報公開などを通じてお客様の信頼にこたえていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理体制の強化 情報公開の強化 食材のトレーサビリティ 	
 <p>3 働く仲間の成長と多様性の尊重 「働く仲間の成長と多様性の尊重」は、サービス業として欠かせない競争力の源泉であり、従業員が働きやすく、それぞれの成長を目指す職場環境を提供していく</p>	<ul style="list-style-type: none"> 女性活躍の推進 従業員の能力向上支援 働きやすい職場環境づくり 	
 <p>4 地域・社会への貢献 「地域・社会への貢献」は、持続的かつ安定的な事業運営に欠かせぬものであり、雇用創出・人材育成を通じた地域経済振興、食育や寄付を通じた地域交流促進に努めていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> こども食堂の運営受託 産学協働による人材育成 花火大会の主催による地域貢献 	
 <p>5 経営基盤の強化 「経営基盤の強化」は、持続的な成長に欠かせない重要課題の一つであり、経営の透明性を確保しつつ戦略の立案・実行及び監査を継続不断的な取組みとして充実させていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンスの強化 コンプライアンス意識の向上 リスクマネジメント体制の強化 	

コロワイドのサステナビリティに関する取組みの詳細はこちらから

<https://www.colowide.co.jp/sustainability/>



連結財務諸表 (IFRS)

連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前 期 2024年3月31日現在	当 期 2025年3月31日現在
資産		
流動資産	67,275	95,631
非流動資産	197,840	216,595
資産合計	265,115	312,226
負債		
流動負債	95,357	93,776
非流動負債	115,624	131,342
負債合計	210,981	225,118
資本		
親会社の所有者に帰属する 持分合計	44,954	77,537
資本金	27,905	43,814
資本剰余金	40,532	56,576
自己株式	△126	△109
その他の資本の構成要素	△139	178
利益剰余金	△23,219	△22,922
非支配持分	9,181	9,571
資本合計	54,135	87,108
負債及び資本合計	265,115	312,226

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前 期 2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで	当 期 2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで
売上収益	241,284	269,156
売上原価	101,916	112,389
売上総利益	139,368	156,766
販売費及び一般管理費	130,656	147,462
事業利益	8,712	9,305
その他の営業収益	2,142	2,635
その他の営業費用	3,736	4,228
IFRS営業利益	7,117	7,712
金融収益	2,214	406
金融費用	2,833	3,341
税引前利益	6,498	4,777
法人所得税費用	2,434	2,522
当期利益	4,064	2,255
当期利益の帰属		
親会社の所有者	2,905	1,249
非支配持分	1,159	1,006
当期利益	4,064	2,255

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前 期 2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで	当 期 2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,879	28,808
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,582	△21,606
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,329	17,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	273	75
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,759	25,230
現金及び現金同等物の期首残高	50,066	46,307
現金及び現金同等物の期末残高	46,307	71,537

※事業利益=売上収益-売上原価-販売費及び一般管理費

株主様ご優待のご案内

株主様ご優待商品のご案内

株主様ご優待ポイントでお申込み頂けます。

株主様ご優待ポイントでお申込み頂けます。是非、お試下さい。

※本商品は天候その他止むを得ない事情で変更又はお取り扱いを終了する場合がございます。※写真は全てイメージです。

■掲載商品は2025年7月～12月末日までの引換商品です。

ご優待商品のお問い合わせは、株主様ご優待ポイントサービスセンター ☎

0570-03-0312

045-228-9671

9:00～20:00 (1/1・1/2を除く)

1 国産黒毛和牛サーロインステーキ【宮のたれ】付き



1万3千ポイント

黒毛和牛のサーロインステーキとこだわりの「宮のたれ」をセットでお届けします。

2 バンノウ水産 厳選【本鯖】の詰め合わせとネギトロのセット



1万3千ポイント

人気の鯖詰め合わせ。今回は鯖の王様【本鯖】の中トロ・赤身をご用意致しました。ご一緒に定番のネギトロもご賞味下さい。

3 国産黒毛和牛スライス



1万2千ポイント

黒毛和牛のきめが細かく柔らかい部位を厳選致しました。しゃぶしゃぶやすき焼きで、美味しく召し上がれます。

4 宮のたれ200gボトルとハンバーグセット



8千ポイント

「宮のたれ」とハンバーグをセットにてお届け致します。お店の味をご家庭でもお楽しみ下さい。

5 はまやカレー3種カレーセット



5千ポイント

横浜ランドマークタワー1階のはまやカレー。お店の味をご家庭でもお楽しみ下さい。

6 自家製餃子としゅうまいセット



5千ポイント

甘太郎本店で開発された自家製餃子に自家製しゅうまいをお付けしてお届け致します。

7 シルスマリア生チョコ2種セット



5千ポイント

生チョコ発祥の店「シルスマリア」。人気の生チョコ2種類(シルスミルク・スノーベリー)を詰め合わせました。

8 ティラミス2種セットファミリーサイズ



5千ポイント

ご家族で楽しめる大容量のティラミス。プレーン・抹茶の2種類をご用意しました。

9 大豆で作った!【ガバオ】・【キーマカレー】・【タコミート】



4千ポイント

お肉を一切使用せずに【ガバオ】・【キーマカレー】・【タコミート】を美味しくヘルシーに再現しました。

10 宮のたれ 200gボトル 2本



2千ポイント

「ステーキ宮」で大人気の「宮のたれ」。玉葱にとんにくは国産にこだわり、非加熱で2週間以上熟成させた「生たれ」です。

株主様ご優待
カードにて
ご利用頂ける
店舗

コロナワイドでは500株以上保有の株主の皆様へ、コロナワイドグループでご利用頂ける株主様ご優待ポイント(1万円相当)を年4回「株主様ご優待カード」に付与させていただきます。

※詳細はホームページをご確認下さい。

■ 3月末日の株主様…6月と9月に付与(合計2万円相当) ■ 9月末日の株主様…12月と3月に付与(合計2万円相当)

店舗情報・ご予約は <https://www.colowide.co.jp/gs>

※都合により店舗は予告なく閉店することがございますので予めご容赦下さい。

レストラン	かつば寿司	にぎりの徳兵衛	海鮮アトム
	ステーキ宮	カフェ&ピヤレストラン 宮	和牛ステーキ桜(那須高原店)
	カルビ大将	がんこ炎&がんこ亭	かつ時
	ラパウザ	CANTINA	ウルフギャング・バック
	なぎさ橋珈琲	小さな森珈琲	ラ・ラナリータ
	ジンギスカン羊々亭	アサヒビール園はまなす館	朝陽閣
居酒屋	甘太郎	いろはにほへと	鼎眞屋
	寧々家	北海道	海へ
	暖や	やきとりセンター	鳥の蔵
	KITEKI	3・6・5酒場	ほのぼの横丁
	Beer & Spice	Beer Thirty	BW STATION
	フラムドール	隅田川ブルーイング	バルStyle
	スカイルーム	寿司と肴 ぴん酒場	酒場ヤキセン
	酒場トリノ		

コロナワイドグループ店舗のうち、牛角、牛角食べ放題専門店、牛角焼肉食堂、しゃぶしゃぶ温野菜、温野菜ごはんの美味しいスープ食堂、かまどか、土間土間、日本のおばんざい酒場 土間土間、とんかつ神楽坂さくら、あじフライ神楽坂さくら、鮎処「濱」、BAR「馬車道」、濱一貫、濱いちもんめ、パンノウ水産、フレッシュネスバーガー、Cheeseness Burger、FRESHNESS/パン工房、焼肉飛車角、LITORANEO、はまやカレー、大戸屋ごはん処、ASIAN CAFE 蓮屋珈琲店、シルスマリア、チーズガーデン、クリオロ、グリーンデルベルグ、カフェ&ガーデンしらさぎ邸、エヌカカオチョコレート、ピュアココ トーキョー、海外店舗等ではご利用頂けませんのでご了承下さい。詳しくは弊社ホームページをご確認下さい。

2025年6月末現在

会社概要 (2025年3月31日現在)

商号：株式会社コロワイド
所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
ランドマークタワー12階
設立：1963年4月
資本金：438億14百万円
主な事業内容：1. 飲食店の経営
2. 各種食料品の仕入販売及び加工販売
3. 煙草、酒類の販売

役員 (2025年3月31日現在)

代表取締役会長	蔵人金男
代表取締役社長	野尻公平
取締役	磯野健雄
取締役	松見大輔
取締役	植田剛史
社外取締役	李野純子
社外取締役	福田守雄
取締役 監査等委員	宇田猛
社外取締役 監査等委員	福崎真也
社外取締役 監査等委員	熊王斉子
社外取締役 監査等委員	樋口一成

株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：毎年6月開催
基準日：定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
その他必要があるときは、予め公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会には口座のある証券会社宛にお願い致します。証券会社に口座を開設されていない株主様は下記の電話照会先にご連絡下さい。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL) <https://www.smbj.jp/personal/procedure/agency/>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座とします。)を開設致しました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は上記の電話照会先にお問い合わせ致します。

公告方法：電子公告

上場証券取引所：東京証券取引所

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	112,999,820株
	優先株式	30株
	第2回優先株式	50株
発行済株式の総数	普通株式	106,453,541株
	優先株式	30株
	第2回優先株式	30株
単元株式数	普通株式	100株
	優先株式	1株
	第2回優先株式	1株
株主数	普通株式	139,217名
	優先株式	1名
	第2回優先株式	1名
株主数	普通株式	139,217名
	優先株式	1名
	第3回優先株式	1名

大株主

株主名	持株数	持株比率
		千株 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,973	9.4
株式会社サンロード	5,766	5.4
蔵人良子	4,062	3.8
蔵人賢樹	2,864	2.7
蔵人金男	2,699	2.5
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	1,458	1.4
鈴木理永	1,094	1.0
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	804	0.8
JP MORGAN CHASE BANK 385781	675	0.6
株式会社みずほ銀行	354	0.3

(注) 持株比率は自己株式(170,850株)を控除して計算しております。

